



注意

本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の投稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

街路樹の愛護

街路樹を愛する方法として街路樹が枯れたら市は直に新樹木を植え替へ其費用は其樹の前に控へた商店と市と折半とする。うなれば街路樹は常に緑をたゞへて居ることとなるであらうとの提案に對し大阪市の公園課長が其提案に賛意を表し且街路樹の萎み或は枯れる原因はガス管からガスの漏洩に因るものが多く、商賣によつて店前の並木が枯れるのはガソリン・スタンドの油の地下に自然に浸蝕する爲であるとか魚屋やアイスクリーム屋が鹽水を道路に撒き捨てる爲である等である又餘り撒水をやり過ぎると並木の根元が何時もじめ／＼して乾

く暇がないから萎んだり枯れたりする、其外地下鐵工事や地下埋設工事、大建築の基礎工事や自動車がぶつかつて樹の根を切ることなどが街路樹に對する大損傷となる。と述べておるがガレーヂや運送屋などでは車の出入に邪魔となる街路樹をわざと拔取ること少くない。街路樹の大切なことは言ふまでもないことで若し一級市民が無關心で唯市吏員のみ難題を待込むのでは不道德の甚しきものであることは前記の原因で判明する街路樹の愛護は國民道德の一である。防空演習で防毒マスクを被つて走り回つたり、祭り騒ぎでワツシヨ／＼の大聲を出すの外に街路樹を大切に取扱ふこととせねばならぬ之れも覺醒の一事である。

道路上の淨化

道路面に塵芥や紙片や煙草や古新聞紙等を撒き散らし或は魚の洗汁や臭氣紛々たる汚水を撒水するなど路面を不淨に取扱ふことは非衛生的であるのみでなく通行者を不愉快に導くこと多大なものである、一日も早く斯る不淨を取り去ることを切望するが近時頗る快心の事がある、夫れはカフェーやバーなどから學生を驅除すると云ふことである、夕方涼を追ふて街を散策するときバーやカフェーに出入する學生の群を見るに其不愉快を感じることの甚しき爲めに散策を中止することが屢々である。

(八、二九、トウミン生)

頑迷固陋な考や政治維新の愛國志士の青年が身を持つること謙嚴貞肅であつたとは言はないが苟くも父兄のすねをかじる部屋住の身であるのみでなく昭和維新の重任を負ふ青年が其費す處の金額は些少なりとするもパーやカフエーに出入して微かな而も安値な慰安を得んとして身の大破滅を招來することのあるべきをも忘却して學業を怠り時間を冗費し甚しきは不良の徒と化するが如き實に恐るべく憂ふべき行動に出づることとは絶対に避けねばならぬ事であると斷言する斯る不純な行動は獨り其一身を不淨に導くのみでなく行き交ふ路上の他人に不快を與へ不淨を感じしむるの大なるものがある。夫れで警視廳の取締りで街路から消滅すると云ふことは寔に喜ぶべきことである。尙吾人は警視廳當局に對し斯る取締りは嚴密にして暫定的でなく充分徹底的に勵行せられたきものであるが唯取締りの嚴密なる爲めに學生をして反抗心を惹起せしめざるよう彼等を善導するの懇切な情操を其

取締の任に當る警官達に把握せしむること
に意を用ゐられんことを（八、三〇、櫻田
生）

噪音防止は最大急務

吾人都會生活者は日夜惱まざるゝ種々の事物が存在することを看取する、其一到噪音がある此噪音は種々の關係から發するものであることは敢て一言を費すの要がな
い、曩日警視廳管内では自動車やオートバイの警笛を禁して其不快極まる噪音の消滅を企てられた、夫れは相當の成績を收められたことと思ふ、されど電車の噪音は中々防止が困難である爲めか未だ何等の取締りがない、吾人の如き此種の企圖に關して無智な者は其手段方法は斯くあるべしと言ふことは不能事であるが併し注意を怠つてはおらぬ、都會の煤煙も防止しなければならぬが街頭の噪音も何とかして防止してもらいたきものである。學術的な關係は如何であるか吾人の關知する所でないが帝國鐵道

協會で東京市電氣研究所研究課長高田實氏の意見を發表せられたが電氣鐵道の噪音の防止は中々困難であることを教へられた、高田氏は噪音發生の原因を一、軌條と車輪の間の摩擦音及衝撃音、二、電動機齒車の噪音、三、軌條接目に於ける衝撃音、四、各部に於ける振動衝撃音であると述べておる、勿論此等諸原因に依る噪音を簡単に防止し得られざることと言ふまでもないことであるが高田氏の言はるゝ通り難事は難事でも電車噪音の防止に努力することは電氣鐵道事業者の義務でなくてはならぬ敢て事業者の熱慮を切望する（八、一〇、氷川生）

交通事務と疲勞狀態

過般大阪府で調査した交通事故報告（五月中）を見ると一日中自動車に依つて生じた事故は午前零時乃至二時間では十二時乃至四時間では四、四時乃至六時間では五、六時乃至八時間では二十二、八時乃至十時間では二十二、十時乃至正午間では三十

四、正午乃至午後二時間では三十一、二時乃至四時間では十八、四時乃至六時間では三十五、六乃至八時間では四十三、八時乃至十時間では三十九、十時乃至十二時間では二十六となつて居る、此統計で全般的に判断することは恰當でないとしても大體に於て事故發生の最大原因は運轉者も通行者も其の心身の疲勞した場合であると判断し得るのである、だが心身の疲勞即ち人間が緊張力を喪失して居る場合には種々の故障が生じ易いものである、身體の疾病も外傷も將又失敗も物忘れも緊張力の減耗した場合であることは萬人の體驗する處である、今や非常の時局に遭遇して居る、防空演習を行つて國民を國防方面に轉向することに努めて居る向もあるが國民全體が果して緊張氣分に充たされて居るか否や山人大に之を怖むものである（八、二五、風來山人）

教育の道

第二の國民を如何に教育し行くかは困難

である、餘程の活眼遠慮の士を待つにあらざれば或は實現し得られないかも知れないが國民一般が茲に着意することが緊急の事なのである。我邦明治初年以後の教育がとかく物質主義を過重視し科學萬能を眼目とし、一にも二にも歐米に追及せんことのみに没頭した結果が今日の國民風を招來したのである、修身齊家の途を子弟に要求しながら父兄夫れ自身は放縱我儘の行動を歩みつゝある者が少くないのである、故に正直勤勉の教は小學時代に限られたるもので中學以上では父兄の心理が反映した教育が施される事情だ。夫れで世の中が行き詰らなければ不可思議なことだ、夫れで政治が腐敗せざれば恠異の事だ、夫れで家庭が紊亂せざれば人間以外の世界だ、夫れで善良忠實な國民が出来れば現世ながらの極樂淨土だ、近時獨乙では母親教育の必要を感じながらも其教育科目が宗教、政治、經濟、道徳乃至家事一切の科目だとの事だ、目ざめた教育の道と云はなければならぬ、曾ては良

妻賢母主義の教育を授けられた今の母親は果して如何三角戀愛の外道を歩むものハウスキーバーの名稱の許に無國家主義界に走る者等々の徒輩を出現したのである、自動車道の構成に産業道の築造に浮き身をやつすも結構だが國民教育道を工作することこそ焦眉の急務にあらざるか敢て獨乙ナチスの跡を追ふを要せず日本獨自の途を見出さば幸である（八、二〇、憂世生）

南海電鐵は正道を

歩むか

フト某新聞の「新聞街一丁目」を見ると「南海へ物申す」と題し大阪の難波・住吉線のバス問題で大阪府知事が「南海電車は大阪南郊の開発に貢献して居るから云々」と言明されておるが南海鐵道會社果して文化的社會施設を經營しておるかとの公開質問に對し寺田南海社長の談として明治十七年に難波驛を出現して以來田園が市街地と變じ農村が商工街となり狐兎の巢が人間の

住家に化したのは南海電鐵會社の力で府知事の副申は過言でない」と載せられてあつた、僕は寺田社長に尋ねたい南海電車會社が數十年來施設經營した海水浴場や鐵軌の布設は大阪市の繁榮乃至市民の幸福を念願した爲の事業であつたか自己會社の収入の増加、利益配當の多額、重役達の賞與増額の爲めには毫も關心しなかつたのか。今日バス問題に逢着したので偶々社會の推移人口の増加都會集中の趨勢其他の事情の爲めに桑田變じて街區となつたのであるのを南海鐵道施設の爲みとのみ解して強ひてバス經營の理由となさんとするのはないか虚心坦懐私心を去つても尙斯く思考せらるゝのか苟くも我國社會に於ての公の機構として市町村を認め國家の政治の一部を夫れに委任し其市町村民の幸福と利益とを増進せしめんとする方針に出でて居る事に考及するときに其自治の權能を尊重することが國民の義務ではなからうか曩日來の大朝新聞の論説の如き大に賛成すべきものである。

南海電車會社の事業は主として大阪と云ふ大都市の存在に依つて持續して株主も重役も其恩恵に浴して居る以上は敢て住吉灘波間の僅距離の利益擁護の爲めに大阪市と相争ひ府知事を窮地に陥らせることを差控へて然るべきであらう。要するに大阪市あつて南海電車がある、南海電車がある爲めに大阪市がある理合はないのである。大阪府が提出した陳情や大阪市會が内務鐵道大阪府知事に提出した意見書は大體に於て恰當穩健な主張である、即ち本會の意見書の末尾に、要之本件は一見一地方一路線の問題の如くにして決して然らず是が裁決如何は本市民の公益は勿論延ては地方財政竝に自治の興廢に關する重大案件にして是れ將來市内交通にして複雑なる經營主體の續出するに於ては御省(内務省)が德源せらるゝ市營主義に依る市内交通關統制は本市亦多年要望せる所なるに拘らず實現に至難なりと云はざるべからず、本件府知事の副申の報一度傳はるや關係地方區民は勿論全市民

愕然として市民の公益の蹂躪せられんとするに驚き之を非難攻撃するの聲囂々たるものあり今や全市を舉げて自治權益の擁護を絶叫し所在相呼應して猛運動を起すに至るは寔に故ありと云ふべしと其主張は決して失當にあらずと思はる、彼の大阪府知事は(一)南海鐵道株式會社の「同地方開發上」に於ける過去の功績なるものと(二)既免許鐵道會社の權益尊重とを主眼として副申するも大阪府が都市計畫事業とし巨資を投じて構築したる重要街路であることと地下鐵の布設の特許を受けたことと交通費を市民に重課すること等に鑑み……………而かも地方自治體を無視して國力の發揚を期せんとする不合理を會社關係者に於て反省せられんことを切望する次第である。即ち吾人は寺田南海社長に對し此際出願書類を取下げ事件を圓滑に解決するを正道なりと認識せられんことを奨むるものである。